

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【公開番号】特開2014-118469(P2014-118469A)

【公開日】平成26年6月30日(2014.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-034

【出願番号】特願2012-273924(P2012-273924)

【国際特許分類】

C 09 J 201/00 (2006.01)

C 09 J 11/08 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

C 09 J 7/02 (2006.01)

G 02 B 5/30 (2006.01)

【F I】

C 09 J 201/00

C 09 J 11/08

C 09 J 11/06

C 09 J 7/02 Z

G 02 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

[アクリル系粘着剤組成物A]

上記の粘着主剤に、アクリル系共重合体A100部に対して、ポリエーテルエステル系可塑剤(モノサイザー(登録商標)W-262、分子量556、粘度30mPa·s、25、D I C社製、式(2)に示す構造式を有する)に、ビス(トリフルオロメタンスルホニル)イミドリチウムを50質量部溶解した組成物溶液(サンコノール(登録商標)AD-2600-50R、三光化学工業製)10部配合し、イソシアネート系架橋剤(コロネット(登録商標)HX、日本ポリウレタン工業社製)を1.5部、およびキレート系架橋剤(硬化剤M-5A、総研化学社製)を1.0部それぞれ添加し、15分間攪拌してアクリル系粘着剤組成物を得た。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0075】

[アクリル系粘着剤組成物B]

実施例1の粘着主剤に、アクリル系共重合体A100部に対して、ポリエーテルエステル系可塑剤として、式(2)に示すモノサイザー(登録商標)W-262と式(1)に示すポリサイザ-W-230-H(分子量約1000、粘度220mPa·s、25、D I C社製)との1:1混合物に、ビス(トリフルオロメタンスルホニル)イミドリチウムを20質量部溶解した組成物(サンコノール(登録商標)AD-2623-20R、三光化学

工業株式会社製) 15部と、イソシアナート系トリメチロールプロパンのトリレンジイソシアネート付加物 0.6 質量部を添加し、15分間攪拌して、実施例1と同様な方法でアクリル系粘着剤組成物Bを得た。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

実施例1のアクリル系共重合体A 100部に対して、ポリエーテルエステル系可塑剤(モノ  
ノサイザー(登録商標)W-262)に、トリフルオロメタンスルホン酸リチウムを70  
質量部溶解した組成物を5部配合した以外は、実施例1と同様にして、アクリル系粘着剤  
組成物を調製し、次いで、保護粘着フィルムを得た。該保護フィルムの表面抵抗率は、 $2 \times 10^{10} / \text{sq}$ であった。また、この保護フィルムの剥離帶電圧は、0.0 kVであった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

実施例1のアクリル系共重合体A 100部に対して、ポリエーテルエステル系化合物(モノ  
ノサイザー(登録商標)W-262とポリサイザー(登録商標)W-230-Hとの1:  
1混合物)に、ビス(トリフルオロメタンスルポニル)イミドリチウムを20質量部溶解した  
組成物を10部配合した以外は、実施例2と同様にして、アクリル系粘着剤組成物を調  
製した。次いで、剥離紙にコーティングして、乾燥した後、厚さ10 μmの粘着シートを得た。該粘着層を、先ず、ヨード系偏光板に粘着加工した後、2枚のトリアセチルセルロース(TAC)フィルムで挟み接着した。この3層構造のフィルムの体積抵抗率は、 $1 \times 10^{10} \cdot \text{cm}$ であった。